

令和7年度新規事業 創薬支援推進事業・産学協働新モダリティ創薬推進事業「ニューモダリティコンソーシアム」(略称:Nモダコンソ) 会員企業募集について

第1回 令和7年3月18日 第2回 令和7年3月26日

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 創薬事業部 創薬企画·評価課

本日のアジェンダ



1. ニューモダリティコンソーシアムの概要

1-1. 創薬ブースターについて

1-2. ニューモダリティーコンソーシアムについて

2. 会員企業の募集

3. 質疑応答

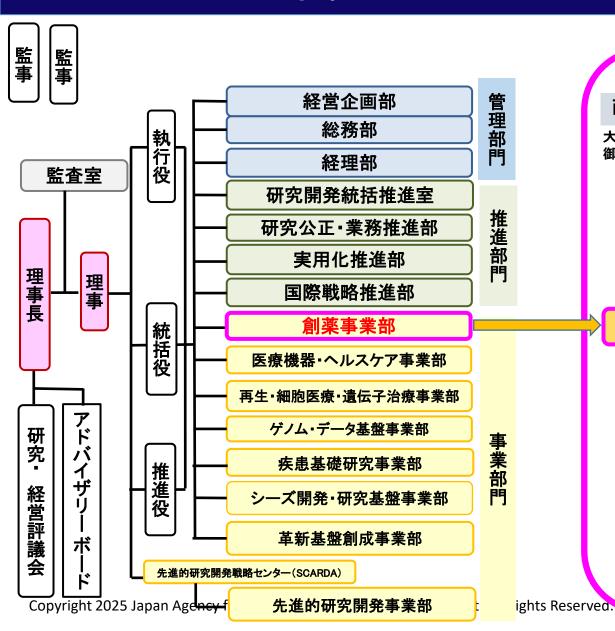


1. ニューモダリティコンソーシアムの概要 1-1. 創薬ブースターについて

AMED組織図

R6年10月1日現在





西日本統括グループ 大阪 本町 御堂筋三井ビルディング6F 東日本統括グループ 東京 日本橋 COREDO室町3 8F 創薬事業部 創薬ブースター事業 創薬企画・評価課 創薬支援室 東日本統括グループ 西日本統括グル-医薬品研究開発課 規制科学推進課

AMED実用化推進支援一覧

2024.2.16版

研究開発フェーズ 応用研究 臨床研究・治験 基礎研究 非臨床 提供価値の明確化 実用化フェーズ 事業戦略 パートナー企業選定支援 提携先の決定 共同開発・資金獲得 知財戦略支援 **---** 申請前 研究開発期間 創薬ナビ アカデミア医薬品シーズ開発推進会談 (AMED-FLuX) **顔コーディネーターには胡**談 アカデミア研究者と企業有識者のフリーディスカッションの場 医 創薬等先端技術支援基盤プラットフォーム (BINDS) 大学・研究機関の施設・技術を無料開放 薬 創薬ベンチャー エコシステム強化事業 딞 AMEDぶらっと®会員制Webサイト型のマッチング支援システム **創薬総合支援事業(創薬ブースター)** 創薬コーディネーターがアカデミア創薬シーズを伴走支援 スタートアップ支援機関連携協定(Plus) 産業革新投資機構(JIC)連携協定 AMEDスタートアップ相談窓口 成果導出セミナー 成果導出に必要な知識とスキルを習得 Medical IP Desk 医療分野知財相談窓口 知財・実用化調査 先行文献調査・出願状況調査・導出失調査 AMED 臨床研究中核病院 Research 医療機関の臨床研究の実施をサ 展示会出展支援 国内: DSANJ, Biolapan 海外: BIO International, BIO-Europe, BIO at JPM等 知財コンサルテーション Compass 共 ポート (AReC) 革新的医療技術研究開発推進事業(産学官共同型):AIMGAIN (アカデミアタイプ・スタートアップタイプ) 部署横断的な一元的 医療研究開発革新基盤創成事業 (CiCLE) (一般型・スタートアップ型 (ViCLE)) 対応窓口・ワンス トップサードス **橋渡し研究支援機関** 大学等のアカデミア発シーズの橋渡し研究をサポート **橋渡し研究プログラム**(橋渡し研究支援プログラム・大学発医療系スタートアップ支援プログラム) アクセラレーション支援(基礎~応用事業戦略構築支援、パートナー企業選定支援) : コンサル・総合相談 医療 医療ニース*実用化調査(医療機器) 医療機器開発支援ネットワーク (MEDIC) 開発初期段階から事業化に至るまで切れ目ないワンストップ支援を実施 :マッチング支援 機器 : 他機関連携 再生医療・遺伝子治療の産業化に向けた基盤技術開発事業 再生・細胞医療・遺伝子治療産業化促進事業 : 知財戦略支援 再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム 再生・細胞医療・遺伝子治療研究実用化支援課題 : ファンディング 再生医療 創薬ベンチャー エコシステム強化事業 等製品 再生医療等実用化基盤整備促進事業

創薬ブースター





創薬ブースター

アカデミア発創薬シーズの実用化を「支援する」



他事業との比較



		AMED
	一般的な競争的研究費	創薬ブースター
テーマ収集	公募が主流	AMEDによる発掘、PIからの提案等 (随時)
テーマ選定	外部評価委員(有識者)	創薬コーディネーター(創薬CD) ※創薬支援ネットワーク機関による審議等を経て採択候補を選定
評価の視点	科学的独創性	科学的独創性+実用化可能性
プロジェクト代表者 研究計画・戦略策定	PI(アカデミアの主任研究者)	創薬CDとPIの共同作業で策定 (創薬CDはPM*として進捗管理)
進捗管理	PS/PO*による定期調査	創薬CDの伴走型進捗管理、データの 信頼性チェック、実地検査の実施等
特許出願	積極的取得	AMEDが判断 ※実用化に適した出願時期、出願内容を考慮
技術支援	研究者の個別企画・調整	創薬CDが企画・調整
資金	研究助成 (研究者が使途を決定)	研究計画に必要な経費 (委託実験調査費・CRO経費)

^{*} PS: プログラムスーパーバイザー、PO: プログラムオフィサー、PM: プロジェクトマネージャー Copyright 2025 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

R7年4月以降

モダリティ・疾患領域を限定せず、大学等の創薬シーズ実用化を支援

創薬ブースター 各ステージにおける支援内容

基礎 研究 標的 特定 標的 検証

アッセイ系・ 評価系構築

スクリー ニング

リード 探索

構造最適化

前臨床開発※1

候補物質特定ステージ

臨床開発候補物質の特定

~前臨床開発※1

検証ステージ

標的検証~リード物質の特定

ステージI アイデアの検証 原則1年

ステージⅡ 標的妥当性の検証 原則2年

ステージ皿 有用性の検証 原則3年

ステージ**Ⅲ**※2 前臨床開発※1 原則2年

アイデアが創薬研 究につながることを 検証する

- ◆ これから創薬研究に 取り組もうとする研究 者も支援
- ◆ 新しい機能分子やパ スウェイ等の創薬のア イデアを基にした標的 探索

【実験調査費の目安】 8百万円程度/年

標的の疾患妥当性を 検証する

- ◆ 標的分子ととト疾患との関 連検証
- ◆ HTS系他、アッセイ系の確 ₩
- ◆ 遺伝子改変細胞/動物を 用いたin vitro/in vivo薬 効検証
- ◆ Preリードバイオ医薬品の 作製とin vivo薬効の検証
- ◆ PDマーカー探索

【実験調査費の目安】 1.5千万円程度/年 +研究計画に必要なCRO費 既存治療法、先行開発品に 対する優位性をin vivoで検 証する

- ◆ 疾患妥当性の高い病態モデルで薬 効の有用性を検証
- ◆ 外部委託等によるHTSの実施
- ◆ 構造展開ユニット等によるリード物質 選定のための初期合成展開の実施
- ◆ リードバイオ品の選択
- ◆ 標的分子への親和性・特異性
- ◆ 標的組織及び正常組織での反応性
- ◆ げっ歯類・非げっ歯類での反応性
- ◆ ADMET試験、DDSの検討

【実験調査費の目安】 2千万円程度/年

+研究計画に必要なCRO費

臨床試験に進むことがで きる産業界水準の候補 物質を見出す

ステージ I

リード物質の最適化

原則2年

- ◆ 臨床開発候補品の取得
- ◆ 構造展開ユニット等によ る構造最適化
- ◆ リードバイオ品の最適化
- ◆ 疾患モデルでの薬効評価
- ◆ CROにて、非GLP予備 安全性試験、薬物動態 試験等を実施

臨床開発候補物質 に対する前臨床開発 の実施

- ◆ GLP試験やGMP製 造等の前臨床開発 をCRO等にて実施
- ◆前臨床における最 終開発候補品を評 価·決定

【実験調査費の目安】 3千万円程度/年 +研究計画に必要なCRO費 【実験調査費の目安】 2千万円程度/年+研 究計画に必要なCRO費

低分子化合物、中分子(ペプチド等)、天然物、核酸、抗体、細胞治療、遺伝子治療等 【対象疾患領域】がん、難病・希少疾患、肝炎、感染症、糖尿病、脳心血管系疾患、精神神経疾患、小児疾患等

※1 前臨床・最終開発候補品を評価・決定する段階

※1 前臨床・最終開発候佣品を評価・決止する政府 ※2 医薬品開発にはスピードが重要なため、早期の医薬品開発・製品化を目指して、候補物質特定ステージII は、共同研究/導出先の企業において実施することを原則として います。但し、超希少疾患等、市場性が比較的小さい対象疾患については、創薬ブースターで支援を行う場合があります。

創薬ブースターの成果(令和6年7月末現在)



成果目標	創薬支援ネットワークの活動実績(件数) (通算) (令和2年4月以降)		
相談・シーズ評価	2354	695	
有望シーズへの 創薬支援	265 ^{支援中} 支援終		
企業への導出	(17)	8	

支援開始時のステージ

支援開始時の研究ステージ	支援課題数	1
標的検証	212	ļ
スクリーニング	38]
最適化	8	
前臨床	7	-
合計	265	

(ライセンスアウト)

支援テーマの対象疾患

ICD-10による分類		支援課題数
感染症及び寄生虫症	А-В	41
新生物	С	107
血液及び造血器の疾患		2
内分泌、栄養及び代謝疾患		11
精神及び行動の障害		8
神経系の疾患		28
眼及び付属器の疾患		6
循環器系の疾患	I	17
呼吸器系の疾患		5
消化器系の疾患		9
皮膚及び皮下組織の疾患		3
筋骨格系及び結合組織の疾患		9
腎尿路生殖器系の疾患	N	5
損傷、中毒及びその他の外因の影響	S-T	6
その他	8	
合計		265

265件のアカデミアシーズを支援(初期が主)

🊹 うち**201件(76%)**は既に支援終了

1 うち**58件(29%)**は導出活動を実施

🇀 うち**17件(29%)**を企業へ導出

内訳:低分子等12件※、ワクチン2件、バイオ3件

バイオを含む低分子以外の モダリティへの新たな支援 の枠組みを構築

※DISC(産学協働スクリーニングコンソーシアム)による支援終了案件10件のう ち4件(5社)は企業導出に成功

ニューモダリティ医薬品シーズの創薬を早期から支援する新 たな枠組みとして『ニューモダリティコンソーシアム』を創設



1. ニューモダリティコンソーシアムの概要 1-2. ニューモダリティコンソーシアムについて

ニューモダリティコンソーシアム ~設立の目的~



- ●大学等が持つ新規医薬品標的と、スタートアップを含む企業が持つ競争優位性のある技術を早期に組み合わせることで、単独の大学等・企業では実現が困難な、新たなモダリティ技術を活用した次世代医薬品開発の実用化を促進する。
- 創薬コーディネーターによる手厚くフレキシブルな伴走支援を伴う『産官学が共同検証できる新たなマッチングの場』を提供する。
- 新規性の高い黎明期技術をもつスタートアップ等への積極的支援を行うことで、リスクを取って挑戦するこれら企業の成長を後押しし、新たな産業の創出につなげる。

ニューモダリティコンソーシアム ~フロ一図~



技

コンソ参加企業



AMED 他事業

研究提案

参加企業に対して

アカデミアシーズに応用できる 参加企業の技術を開示

研究提案

発見 創薬シーズ

0

共有&情報交換、協議

シーズへの興味

技術等を 用いた検証

Step1 プレマッチング 技術等を用いた検証

検証結果

企業評価 Step2

検証結果の企業評価

協議

(共同研究条件等

Step3

連携にむけての協議

技術・ノウハウ提供

検証結果の評価

協議

(共同研究条件等)

ニューモダリティ分野での創薬エコシステムによる 日本発の新薬創出の加速

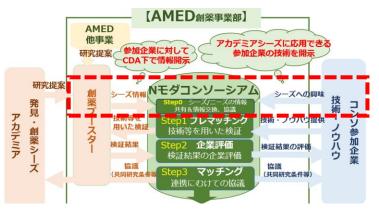
Copyright 2025 Jap

ニューモダリティコンソーシアム ~運営の骨子①~



Step0 大学等のシーズ情報/企業の創薬技術情報等の提供

- ① AMEDは、創薬ブースター支援テーマを中心として大学等のシーズ情報を収集し、会員企業に提供する。
- ② 会員企業は、自社が保有する創薬技術の情報及びニーズ等をAMEDに提供する。
- ③ ①②において提供する情報は、連携検討の各ステップに応じ、ノンコンフィデンシャル又はコンフィデンシャルな情報とする。
- ④ 会員企業は、技術提供を希望する大学等のシーズの有無を回答する。
- ⑤ 技術提供を行う企業はモダリティあたり1社※1とする。
 - ※1同一モダリティで複数企業が希望した場合は、スケジュール、費用、研究者の意向等を参考に AMEDが1社を選定する。なお、モダリティが異なれば複数社による技術提供は可とする。
- ⑥ 大学等と会員企業の意向が一致した場合、検証計画等について協議を行い、 検証試験に関して取り扱う情報、有体物、 公表や成果の取扱等について定める契約* を締結する。
 - ※検証に用いる有体物、検証試験の結果、発明の帰属 や公表については、基本的な考え方を規約で定める が、当事者同士で協議の上、別途契約で定める。



ニューモダリティコンソーシアム ~運営の骨子②~

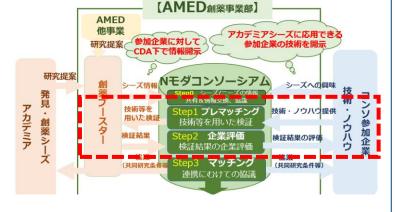


Step 1 プレマッチング(技術を用いた検証)

- ① 会員企業は、契約で定め、独自技術を付加した有体物※を大学等へ提供する。 ※AMEDの事前承諾の上、CRO等において作製する場合、AMEDが作成費用を負担する。
- ② 大学等は、契約で定めた研究計画に基づいて、創薬ブースター支援により検 証試験を行う。なお、希望により、会員企業における試験の実施も可とする。
- ③ AMEDは、大学等が行った検証結果を技術提供した企業へ開示する。

Step 2 企業評価(検証結果の企業評価)

- ① 技術提供を行った会員企業は検証結果を評価し、大学等との連携協議に進むか否かAMEDに回答する。
- ② 連携協議に進む会員企業は、共同研究を行う際の研究計画(案)を作成し 大学等に提示する。



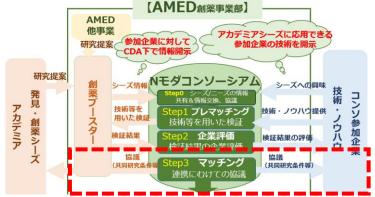
ニューモダリティコンソーシアム ~運営の骨子③~



Step 3 マッチング (連携にむけての協議)

- ① 大学等と会員企業は、共同研究開始にむけて協議を行い、AMEDは必要に応じて調整を行う。合意した場合、会員企業は大学等と共同研究契約を締結する。
- ② 検証試験において得られた大学等との共有成果に対する企業から大学等への対価支払いは必須とするが、本コンソ共通の対価額は定めない。マッチング成功時に個々に協議し決定する。
- ③ 大学等は検証試験において比較薬を用いて得た結果を公表することができる。 また、マッチング不成立時は、大学等と会員企業は公表内容や時期について協 議し合意した上で公表可能とする。

AMEDが支援する。



創薬ブースター 各ステージにおける支援内容

基礎 研究

標的 特定 標的 検証

アッセイ系・ 評価系構築 スクリー ニング

リード 探索

構造最適化

前臨床開発※1

検証ステージ

標的検証~リード物質の特定

Step0で提供 する創薬シー ズの想定 ステージ

で的の疾患妥当性を

ステージⅡ

標的妥当性の検証

原則2年

- ◆ これから創薬研究に 取り組もうとする研究 者も支援
- ◆ 新しい機能分子やパ スウェイ等の創薬のア イデアを基にした標的 探索

【実験調査費の目安】 8百万円程度/年

- ◆ 標的分子とヒト疾患との関 連検証
- ◆ HTS系他、アッセイ系の確 ゕ
- ◆ 遺伝子改変細胞/動物を 用いたin vitro/in vivo薬 効検証
- ◆ Preリードバイオ医薬品の 作製とin vivo薬効の検証
- ◆ PDマーカー探索

【実験調査費の目安】 1.5千万円程度/年

+研究計画に必要なCRO費

ステージ皿 有用性の検証 原則3年

既存治療法、先行開発品に 対する優位性をin vivoで検 証する

- ◆ 疾患妥当性の高い病態モデ 効の有用性を検証
- ◆ 外部委託等によるHTSの実施
- ◆ 構造展開ユニット等によるリード物質 選定のための初期合成展開の実施
- ◆ リードバイオ品の選択
- ◆ 標的分子への親和性・特異性
- ◆標的組織及び正常組織での反応性
- ◆ げっ歯類・非げっ歯類での反応性
- ◆ ADMET試験、DDSの検討

【実験調査費の目安】 2千万円程度/年

+研究計画に必要なCRO費

候補物質特定ステージ

臨床開発候補物質の特定 ~前臨床開発※1

ステージ I リード物質の最適化 原則2年

ステージⅡ※2 前臨床開発※1 原則2年

臨床試験に進むことがで きる産業界水準の候補 物質を見出す

臨床開発候補物質 に対する前臨床開発

Step1で検証試験を

行う想定ステージ

◆ 疾患t (本ステージで検証 ◆ CRO(

安全情 試験等

のキーとなる一部 の試験を実施)

【実験調査

3千万円 在皮/ 平 +研究計画に必要なCRO費

2十万口柱反/年+研 究計画に必要なCRO費

低分子化合物、中分子(ペプチド等)、天然物、核酸、抗体、細胞治療、遺伝子治療等 【モダリティ】 【対象疾患領域】がん、難病・希少疾患、肝炎、感染症、糖尿病、脳心血管系疾患、精神神経疾患、小児疾患等

※1 前臨床・最終開発候補品を評価・決定する段階

※1 前臨床・最終開発候補品を評価・決定する段階 ※2 医薬品開発にはスピードが重要なため、早期の医薬品開発・製品化を目指して、候補物質特定ステージII は、共同研究/導出先の企業において実施することを原則として 16 います。但し、超希少疾患等、市場性が比較的小さい対象疾患については、創薬ブースターで支援を行う場合があります。

GMP製

床開発

ける最

品を評

て実施

3安】

ニューモダリティコンソーシアム ~大学等/企業のメリット~



大学等

- モダリティ固有の課題を克服できる技術(DDS等)がないため研究開発が進まないシーズにとって、課題解決のためのユニークな技術に出会える。
- 創薬ブースターの伴走支援を受けながら、新技術を用いた検証を行うことができる。
- 技術提供企業とのマッチングが成功した場合は、共同研究を開始できる。

企業

- ◆ 大学等のもつ萌芽的なシーズに効率よく早期にアクセスできる。
- 自社技術と新たなシーズのマッチングにより、自社パイプラインを増やす機会となり、革新的な創薬につながる(自社が興味をもたないシーズに対しての技術提供は不要)。
- 大学等における検証試験に必要な費用は原則としてAMED負担の下、シーズの検証ができ、その結果を最初に評価できる。
- 大学等との共同研究開始に向けてのプロセスを規約で定めるため、効率よく共同研究を開始できる。
- 大学等との連携後は、AMED他事業への更なる展開の可能性がある。

ニューモダリティコンソーシアム ~運営の骨子4~



運営の原則

- ① AMED創薬事業部は、代表機関として本コンソの運営を担う。なお、コンソ 設立に先立ち、有志企業とAMEDからなる準備会を設け、有志企業の意見を 参考にコンソ全体の運営ルールとなるコンソ規約を定める。
- ② AMEDは、創薬技術を持ち、規約に賛同する企業(スタートアップを含む) を一定期間募集する。
- ③ ニューモダリティとは、例えば、抗体、遺伝子治療用ベクター、ワクチン、核酸、細胞、タンパク質、ペプチド、タンパク分解薬等の低分子化合物等及び会員から提供された競争優位性のある創薬技術・ノウハウ又はこれらの組み合わせをいう。
- ④ AMEDは、会員企業名をAMEDホームページで公表する。

Nモダコンソ関連規約/契約



【アカデミア】

【Nモダ事務局(AMED)】

Nモダコンソ規約

コンソ入会時に規約賛同を確認

【STEPO】情報共有開始&協議

契約① 創薬ブースター共同研究契約等

ブースター支援 Nモダ利用決定)時に締約

アカデミア/会員企業の秘密情報のやりとりは契約①共同研究契約 及びコンソ規約でカバー(STEP1に向けた協議等)

【STEP1-3】プレマッチング&評価

契約② シーズ情報/物質提供及び評価に関する契約(AMED雛形)

プレマッチング(STEP1)及び企業評価(STEP2)にあたり、相互に提供される情報及び物質、

Step1

検証開始時に締結

各々の検証及び評価に関する契約(双方の提供(量)、評価試験計画)、マッチング成功時の対価の考え方*を定める契約 *例えば、契約③共同研究契約において対価の額や支払い時期等について定める、等

契約③ 共同研究契約

アカテ、ミアと企業間で合意する研究計画、対価等について定める ※アカテ、ミア/企業/AMEDの雛形利用

 Step3

 シーズ導入時に締結

 ※ベンチャーの場合3者契約

契約③ 共同研究契約

アカデミアと企業間で合意する研究計画、 対価等について定める ※アカデミア/企業/AMEDの雛形利用

ニューモダリティコンソーシアム ~成果(知財の取扱)~



①検証有体物:所有権も含め大学等&評価会員の共有

✓ 大学等は情報/モノを企業に提供し、企業は技術、ノウハウを付加する。

②検証試験の結果:大学等、評価会員、AMEDの共有

- ✓ AMEDは大学等と評価会員間の調整を目的として、検証試験期間中のみ共有する。
- ✓ 検証試験に用いた評価系 (ノウハウ) は評価系の提供者に帰属する。
- ✓ 検証結果は、他の当事者への提供、企業における評価以外の目的に使用禁止。
- ✓ 大学等の検証結果は、将来的な対価の対象となる。(バックグラウンド特許等、大学等のこれまでの研究成果がある場合は、別途協議)
- ✓ 検証有体物は、原則として検証目的のみに使用する。但し、検証試験計画の検討時にその取扱(残余物の利用、公表を含むその結果の取扱等)を協議し、契約②で定めることができる。

ニューモダリティコンソーシアム ~成果 (知財の取扱) つづき~



③ 発明:原則として大学等と評価会員の共有

- ✓ 事前の相手方の同意なく、出願等禁止。
- ✓ <u>検証の結果、共同研究に進まない場合</u>、企業と大学等はサブライセンス付きの非独占 実施許諾の要否について協議。

対価の考え方

- ✓ 検証試験において得られた共有成果に対する企業から大学等への対価支払いは必須とするが、本コンソ共通の対価額は定めない。マッチング成功時に個々に協議し決定する。
- ✓ 「マッチング成功時は、対価の額や支払い時期等について、大学等と企業で協議し、契約③の共同研究契約において定めること」のみを契約②において定める。

ニューモダリティコンソーシアム ~大学等における公表の取扱~



検証結果の公表は、契約②、契約③においてその取扱を定める。

①基本的な考え方(マッチング成否に関わらず)

- ✓ 評価会員は、原則として、競合優位性を確認する比較有体物(比較薬*)を大学等に提供する。
 - ※企業が入手、提供可能なもの。大学等のみ入手可能な場合は、代表機関と大学等は取得に協力する。
- ✓ 大学等は、検証試験において比較薬を用いて得た結果を公表することができる。

②マッチングが成立し共同研究に進む場合

✓ 大学等と評価会員は、検証有体物を使用した試験結果の公表については、その内容や時期等を協議し、共同研究契約(契約③)において定める。

③マッチング不成立の場合

✓ 大学等と評価会員は、その内容や公表時期について協議※し、合意した上で公表可能とする。

※公的資金による成果であること、大学等には社会的使命があることを、企業には考慮いただきたい。

マッチング成立後について(コラボ案等)



技術

モダコンソ参加企業

研究提案

発見

AMED

AMED その他事業

スタ

研究提案

シーズ情報

技術等を 用いた検証

検証結果

協議 (共同研究条件等)

Nモダコンソーシアム

シーズ/ニーズの情報 共有&情報交換、協議

Step1 プレマッチング 技術等を用いた検証

企業評価 Step2

検証結果の企業評価

マッチング Step3 連携にむけての協議

シーズへの興味

技術・ノウハウ提供

検証結果の評価

協議 (共同研究条件等)

実用化に向 け

ピッチ コンテスト

(AMED 創薬ベンチャー エコシステム強化事業)

> **AMED** その他事業

オプション 活用も可

オプション

紹介

契約③

共同研究契約

アカデミア⇔企業※1間※2

※1:検証結果を評価した 企業

※2:ベンチャーの場合、 AMEDも契約に参加 オプション

他のコンソ会員に 検証結果等を開示

オプション

興味を示した他のコ ンソ会員が共同研究 に参加等

ニューモダリティコンソーシアム(Nモダコンソ)実施体制図

Nモダコンソ

Nモダコンソ

規約

創薬ブースター

創薬ブースター支援に際し 共同研究契約等を締結

【AMED創薬事業部】 代表機関

- 会員企業へ大学等の創薬シーズ情報を 提供
- ・ 検証試験等に向けた検討に関する大学 等と会員企業の円滑な協議、対応等に 関する全体調整

事務局

(Nモダユニット)

- 代表機関と会員企業と の窓口業務
- 検証試験の実施支援等
- ※ 公募により選定した機関に おいて事務局業務を実施

研究機関

(大学等、創薬ブースター 支援課題のPI所属機関)

・ 会員企業の技術を付加した有体 物を用いて、会員企業と合意し た検証試験計画に基づく検証試 験を実施

検証試験実施 に際し3者で

契約を締結

総会 幹事会

Nモダコンソ会員企業

(ベンチャー企業、製薬企業等)

- ・ 大学等の創薬シーズに関する検証試験の実施希望有無を検討
- ・ 検証試験の実施を希望する創薬シーズに関して、大学等と検証 試験計画等の協議、創薬技術・ノウハウを付加した有体物等の 提供
- 検証試験結果に基づく連携(共同研究)希望有無を検討



2. 会員企業の募集

募集概要 ①



1. 応募資格

応募にあたっては、以下の(1) \sim (5)の全ての要件を満たすことが必要です。

- (1) Nモダコンソ規約第2条の目的に賛同し、本規約を遵守すること。
- (2)大学等の創薬シーズの課題解決のために使用可能な独自の技術・ノウハウを保有し、AMED及び大学等と合意した場合には、検証試験を目的として その独自の技術・ノウハウをAMED及び大学等に提供する意思を有すること。
- (3) 創薬のための研究開発を行う体制が整っている日本法人であること。
- (4) 本コンソーシアムの会員として企業名又は団体名が公表されることを了承 すること。
- (5) 本コンソーシアムへ提供した会員企業に関する情報は、個人情報及び秘密情報を除き、退会後も本コンソ―シアムがNモダコンソ規約第2条の目的のために活用する場合があることを了承すること。

2. 会費

入会及び参加にあたり会員企業が負担する費用は、無料です。

募集概要 ②



(参考) コンソ規約第2条に定める目的

本コンソーシアムは、国立研究開発法人日本医療研究開発機構創薬事業部が実 施する創薬支援推進事業・創薬総合支援事業(以下、「**創薬ブースター**」とい う。)**に採択された大学や公的研究機関等**(以下、「大学等」という。)**で生み** 出された創薬に関する優れた研究成果(創薬に係る標的機能分子や標的機能分子 **に作用する物質等をいい、以下、「創薬シーズ」という。**)に基づく医薬品を創 生することを目指し、**創薬シーズと本コンソーシアムの会員から提供された競争** 優位性のある創薬技術・ノウハウを早期に組み合わせることで、新たなモダリ ティ(ニューモダリティ)技術を活用した医薬品開発の実用化の可能性を高める ことを目的とする。

募集概要 ③



3. 入会申込手続き

提出書類

- ①「ニューモダリティコンソーシアム入会申込書」
- ② 企業等の財務状況資料
 - ✓ 医薬品の製造販売業許可を有していない企業のみ提出してください。
 - ✓ 直近3年分の決算報告書(貸借対照表、損益計算書)、資金繰り表、財務スコアリングをPDFファイルとして提出してください。
 - ※AMED指定の資金繰り表はありません。なお、AMEDのホームページに参考様式を公開していますが、必ずしもこのフォーマットに従う必要はありません。

参考様式: https://www.amed.go.jp/keiri/youshiki itaku.html

※財務スコアリングは、独立行政法人中小企業基盤整備機構が提供する登録不要の無料診断「経営自己判断システム」をご活用ください。すでに他機関による財務診断等を受けている場合は、その結果を提出いただくことでも構いません。

経営自己判断システム: https://k-sindan.smrj.go.jp/

③その他の参考資料(企業概要のわかるパンフレット等)

募集概要 ④



4. 募集期間(予定)

令和7年4月1日(火)~5月9日(金)午後2時必着

提出先

必要な提出書類を電子メールに添付し、以下の宛先に提出してください。 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 創薬事業部 Nモダコンソ事務局 宛先:id3nmoda@amed.go.jp

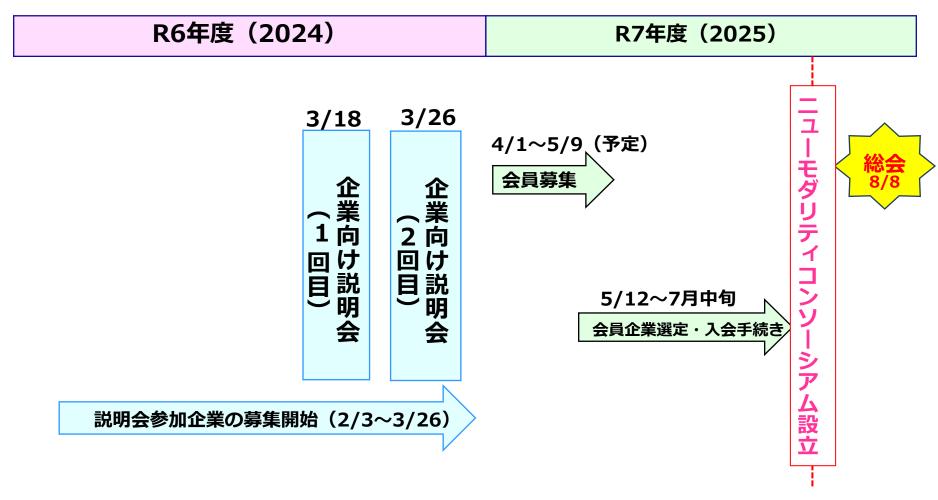
<u>その他</u>

令和7年4月1日以降、AMEDのホームページにおいて募集要領、質疑応答、 入会に関する情報を随時更新しますので、ご確認をお願いします。 URL: https://www.amed.go.jp/program/list/11/02/001_02-05.html



ニューモダリティコンソーシアム ~今後のスケジュール~







ご清聴ありがとうございました。 入会申込み、お待ちしています。





